

高知県立安芸桜ヶ丘高等学校

(旧安芸工業)

野球部の軌跡

Since1973～



昭和49年

第27回県高校体育大会野球の部は6月1日から3日まで高知市営、高知高球場の2会場で開幕。出場校は今大会から初出場の**安芸工**が加わり、前年の17校を上回る18校となった。

安芸工一土佐は昭和48年9月に野球部を創設した**安芸工**が今大会に初出場したが、練習不足から土佐に完敗した。この試合で土佐は**安芸工**・桑名の制球難に乗じて8四死球を得てこれに3安打を絡めて中盤で大勢を決定。守っては試合半ばに控え選手を入れて余裕のある布陣で対戦。投手も村田、玉川、森有の継投策を取って**安芸工**打線を1安打に抑え、6-0で‘快勝した。

第56回全国高校野球選手権大会県大会は7月17日から23日までの7日間、高知市営球場で開幕○前年不参加だった小津、初参加の**安芸工**を加え、昨年の17校を上回る大会最多の19校が参加して開かれた。

今大会から金属バットの使用が認められ、華々しい打撃戦が予想された。だが当初は金属バットの使いこなし、打ち込み量が十分でなかったのか打撃上位の戦いは期待できず、一試合10安打以上の試合は昨夏の8試合から9試合とわずかに増えた。本塁打も昨夏の2本から今大会は1本と意外に振るわず低調だった。

◆第27回県高校体育大会野球の部 (S49. 5. 25~28)

二回戦 土佐 6 - 0 **安芸工**

◆第56回全国高校野球選手権大会県予選 (S49. 7. 17~23)

一回戦 室戸 15 - 8 **安芸工** 8回コールド (室)藤岳一久保退 (安)桑名一昌中

◆第27回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S49. 11. 2~8)

一回戦 宿毛 16 - 0 **安芸工** 5回コールド (宿)山下一嵐 (安)桑名、米村一西山

昭和50年

高知、選抜で宿願の初優勝飾る。第47回選抜高校野球大会に出場した高知は東海大相模とともに東西の横綱に挙げられ優勝候補と目されていたが、大会前の予想通りに見事、宿願の初優勝を勝ち取った。

◆第28回春季四国地区高校野球大会県予選 (S50. 4. 1~6. 19)

一回戦 清水 11 - 1 **安芸工**

◆第28回県高校体育大会野球の部 (S50. 5. 24~27)

一回戦 高知商 8 - 0 **安芸工**

◆第57回全国高校野球選手権大会県大会 (S50. 7. 17~23)

一回戦 **安芸工** 15 - 7 須崎 7回コールド (安)桑名一西山 (須)山本一清水

二回戦 **安芸工** 3 - 7 清水 (安)桑名一西山 (清)浅井一吉永

◆第28回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S50. 11. 1~7)

一回戦 **安芸工** 6 - 11 追手前 (安)坂本一島田 (追)谷本、和田一宮地

昭和51年

選抜大会に土佐が出場。8強入りの健闘を見せた。夏は南四国大会で徳島商に敗れ県勢の甲子園出場は成らなかった。県内では抜群のチームはおらず各校の戦力が伯仲。また、高知商が不祥事を起こして大会出場を自粛。これに伴い秋季大会には有力校に続く二番手校が台頭するなど、かつてない群雄割拠の年となった。

◆第29回県高校体育大会野球の部 (S51. 5. 22~23)

一回戦 **安芸工** 6 - 3 大方

二回戦以降雨天により中止

◆第58回全国高校野球選手権大会県大会 (S51. 7. 17~26)

一回戦 **安芸工** 1 - 3 高知高専 (安)川口一広地 (高)田辺一今村

◆第29回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S51. 10. 31~11. 6)

一回戦 伊野商 11 - 2 **安芸工** 8回コールド (伊)国沢一市川 (安)川口一広地

昭和52年

県勢チームは選抜大会、夏の甲子園、さらに秋の国体、明治神宮大会にも出場。優勝こそ逸したが、これらの大会で二つの準優勝、ベスト4、8強進出と大活躍。野球王国高知の名声を高めた。選抜大会に初出場した中村。部員わずか12人の少数部隊ながら決勝まで進出。箕島と対決し、最後の戦いでは力尽きて箕島に3-0で敗退。

準優勝となったが、“さわやか二十四の瞳”と話題をまき、大会に中村旋風を巻き起こした。

◆第30回県高校体育大会野球の部 (S52. 5. 21~24)

一回戦 小津 12 - 2 安芸工

◆第59回全国高校野球選手権大会県大会 (S52. 7. 16~22)

一回戦 明徳 4 - 2 安芸工 (明)山下一山中 (安)川口、山本一広地

◆第21回県選抜高校野球大会 (S52. 8. 27~31)

一回戦 高知商 18 - 2 安芸工

◆第30回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S52. 11. 7~12. 15. 18)

一回戦 明徳 10 - 4 安芸工 (明)山下、田村一藤原 (安)山本一広地

昭和53年

春夏連続して甲子園にこまを進めたが、とりわけ、夏の甲子園に出場した高知商は準優勝を達成。この年から全国高校野球選手権大会は1県1校の出場となった。県勢としては昭和39年の高知以来、14年ぶりに決勝戦にこまを進める快進撃を見せた。決勝戦は抜群の力を秘め、超高校チームといわれたPL学園と対戦。9回裏に奇跡の大逆転劇を演じて3-2で高知商にサヨナラ勝ちし初優勝を達成。高知商はいま一步で優勝を逸した。

◆第31回春季四国地区高校野球大会県予選 (S53. 4. 1~8. 15~16. 22)

一回戦 安芸工 3 - 1 中村

二回戦 安芸工 6 - 5 高知西

準々決勝 安芸工 2 - 1 伊野

準決勝 安芸工 (不戦勝) 大方商

決勝戦 高知商 8 - 1 安芸工 (高)森、秋山一坂上 (安)山本一広地

◆第31回県高校体育大会野球の部 (S53. 6. 3~6)

一回戦 大方商 8 - 1 安芸工

◆第60回全国高校野球選手権記念大会県大会 (S53. 7. 21~28)

一回戦 安芸工 0 - 1 安芸 (工)山本一広地 (芸)山村一横田

◆第22回県選抜高校野球大会 (S53. 8. 25~29)

一回戦 安芸工 6 - 0 室戸

二回戦 安芸 2 - 1 安芸工

◆第31回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S53. 11. 1~9)

一回戦 安芸工 16 - 3 清水 5回コールド (安)山本一西山 (清)亀谷、芝岡一田村

二回戦 高知商 1 - 0 安芸工 (高)森一田川 (安)山本一西山

昭和54年

甲子園でとみに名声を高めていた県勢チームが低調だった。力はあるがらいま一つ上位進出はできず不運にも敗退。昭和50年に高知が選抜優勝して以来、52年選抜の中村準優勝、53年夏の高知商準優勝と続いた栄光の持続が途切れ“谷間の年”となった。

◆第32回春季四国地区高校野球大会県予選 (S54. 4. 1~9. 14)

一回戦 安芸工 4 - 2 須崎

二回戦 清水 5 - 1 安芸工

◆第32回県高校体育大会野球の部 (S54. 5. 19~22)

一回戦 安芸工 0 - 1 須崎

◆第61回全国高校野球選手権大会県大会 (S54. 7. 21~29)

一回戦 安芸工 4 - 5 安芸 (工)山本一西山 (安)浜田一柴原

◆第23回県選抜高校野球大会 (S54. 8. 25~30)

一回戦 安芸工 9 - 5 須崎

二回戦 高知 11 - 0 安芸工

◆第32回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S54. 11. 1~11)

二回戦 大方商 10 - 6 安芸工 (大)近藤一夕部 (安)宮崎一松本

昭和55年

選抜大会に出場した高知商が宿願の初優勝を勝ち取った。この年の高知商は「球道くん」のニックネームをつけられた好投手の中西清起を擁し投打に安定。苦戦の試合もあったが、新宮、富士宮北、尼崎北、広陵を連破して優勝候補の前評判通りに快進撃。決勝戦では帝京と0-0の接戦を繰り広げて延長戦に突入。激闘10回、1-0でサヨナラ勝ちを決めた。

安芸工は1回戦で追手前に7-1と大勝。リズムに乗ると、2回戦で高知東と対戦。2年生の藤本雄司(元阪神)の好投と5回に放った根木の2点本塁打で3-2と逆転勝ちした。波に乗ると、準々決勝では須崎と顔合わせして打撃戦を展開。8安打の安芸工が12安打を放った須崎に7-6で競り勝った。だが準決勝で今大会快調だった明德に7-0で完敗した。

◆第33回春季四国地区高校野球大会県予選 (S55. 4. 2~11. 19)

一回戦 安芸工 8 - 1 伊野商

二回戦 土佐 4 - 1 安芸工

◆第33回県高校体育大会野球の部 (S55. 5. 24~27)

一回戦 安芸工 1 - 0 須崎

二回戦以降は雨のため中止

◆第62回全国高校野球選手権大会県大会 (S55. 7. 21~31)

一回戦 追手前 1 - 7 安芸工 (追)宮本、池田一包国 (安)藤本一松本

二回戦 高知東 2 - 3 安芸工 (東)堤、小林一橋田 (安)藤本一安岡

準々決勝 安芸工 7 - 6 須崎 (安)藤本一安岡 (須)浜口一松本

準決勝 安芸工 0 - 7 明德 (安)宮崎、藤本、山本一安岡 (明)河野、久保田一今上

◆第24回県選抜高校野球大会 (S55. 8. 24~28)

一回戦 中央 2 - 1 安芸工

◆第33回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S55. 11. 1~8)

二回戦 安芸工 12 - 6 追手前 (安)宮崎一松本 (追)池田一川口

準々決勝 高知東 0 - 6 安芸工 (東)小林、江川一橋田 (安)藤本一松本

準決勝 安芸工 2 - 3 追手前 (安)藤本一松本 (伊)山本、中嶋一箭野

昭和56年

県勢の甲子園での活躍はなく、春夏ともに初戦で敗退。前年に比べ落ち込みが激しかった。11月に開かれた明治神宮野球大会に四国ブロック代表として出場した明徳は北海、早実、大府を連破して初優勝を達成。

第34回県高校体育大会野球の部は、2回戦の**安芸工**一土佐戦は両チームが伯仲した攻防戦を展開。延長12回の激闘の末、**安芸工**が4-3で土佐に競り勝った。この一戦は春の県予選の再現となり、雪辱を期す**安芸工**は初回、先頭の服部が四球、森本は右前打して一、三塁と詰め寄り、野崎の暴投でまず1点。一死から藤本の中前打で2点目を取り先行した。しかし、その後はチャンスで上位陣が凡退。土佐はこの試合で9四球と制球を乱した**安芸工**の藤本を攻め立て6回に攻勢。四球、内野失でつかんだ一死一、二塁の好機に門田、高田が連打して同点に追いつき、延長戦にもつれ込んだ。延長戦に入った11回表、**安芸工**は二死一、二塁の好機に岡田が中前打して勝ち越し点を取ったが、その裏土佐も粘って反撃。二死二塁から西山が中前打し再び同点とし試合はエスカレートした。**安芸工**は12回になって敵失から幸運な足掛かりをつかんだ。この回二死から大和が三塁失で出塁続く藤本は初球を右中間に三塁打して食い下がる土佐を振り切った。

準々決勝の高知東一**安芸工**は今大会最高の白熱した好試合となり、高知東の畦地、**安芸工**の山本が力投して相譲らぬ投手戦を展開。延長に入っても均衡は破れず、激闘18回の末、ついに0-0で引き分けとなった。高知東の畦地はカーブを武器に力投。11回までに3失策、4四球の走者を出したが、要所を抑えて無安打と好投。後半には疲れが出て12回からは毎回安打されたが、最後まで踏んばり抜いた。最も危なかったのは18回だった。**安芸工**が代打前田の遊ゴロ失、大和の四球で一死一、二塁と攻勢。続く藤本の三遊間安打で前田の代走小松が本塁へ突入したが、高知東は左翼手が好返球して小松を刺しピンチを切り抜けた。**安芸工**の山本はスリークォーターから切れ味のよいシュートを武器に快投。12回までを4安打、2四死球に抑えて三塁を踏ませぬピッチングを披露した。14回に岩本、中川が四球を得て好機をつかむと、二、三盗を試みて山本を揺さぶった。しかし、落ち着いた山本は次打者森尾を3球で三振に切り取り、しり上がりに快調なピッチングを見せた。3時間20分に及んだ激闘18回の攻防戦は高知東が4安打、5四死球に7残塁。**安芸工**は9安打、5四球に14残塁という試合内容で引き分け。畦地が217球、山本は226球と相譲らなかった。大会は日延べができないため、高知、中村、高知商に高知東、**安芸工**を加えた5校を1位とした。

◆第34回春季四国地区高校野球大会県予選(S56.4.1~11.18)

一回戦 **安芸工** 8 - 0 宿毛

二回戦 **安芸工** 7 - 0 須崎

準々決勝 土佐 3 - 0 **安芸工**

◆第34回県高校体育大会野球の部(S56.5.23~26)

二回戦 **安芸工** 4 - 3 土佐

準々決勝 高知東 0 - 0 **安芸工** (東)畦地一橋田 (安)山本一松本

以降日程の都合上5校優勝

◆第63回全国高校野球選手権大会県大会(S56.7.19~27)

二回戦 高知 6 - 0 **安芸工** (高)田中一中村 (安)藤本、山本一松本、吉田

◆第25回県選抜高校野球大会(S56.8.25~30)

一回戦 **安芸工** 4 - 0 中村

二回戦 **安芸工** 7 - 0 高知西

準々決勝 **安芸工** 1 - 7 明徳

◆第34回秋季四国地区高校野球大会県予選(S56.10.4~12)

二回戦 **安芸工** 2 - 1 宿毛 (安)山本実一吉田 (宿)浦中一名倉

準々決勝 中央 4 - 1 **安芸工** (中)山田一山本正 (安)山本実一吉田

昭和57年

この年の選抜大会には高知商、明徳の2校が出場。県勢チームとしては10年ぶり4度目のアベック出場となった。両校はともに1回戦は勝ったものの、2回戦で両チームとも敗退。上位進出は成らなかった。選抜大会から帰高した明徳は着実に力をつけ、県内チームの挑戦を退けて春の四国大会にも出場。初戦で三島を倒し、決勝では畠山準のいた強敵池田に勝って初優勝。四国一の座に就いて“高知明徳”の名を高めた。

第35回県高校体育大会野球の部は一方のゾーンは戦力の伯仲したチーム同士が激突。僅差の接戦をくぐり抜けた**安芸工**と中村が苦戦しながらも上位へ勝ち進んだ。この結果、ベスト4には**安芸工**、中村、宿毛、高知東が進出したが、県立校が4強を独占したのは県内公式戦で初めての会心事となった。準決勝の中村—**安芸工**は中村が初回に3点を先行、有利に試合を進めていた。だが**安芸工**は早めの継投策で中村の追加点を断ち切り、攻めては中盤で見事な集中攻撃を展開。4-3と逆転勝ちし、初の決勝進出を決めた。中村—**安芸工**も投手陣の強弱が勝敗を分けた一戦となった。ゲームは中村が序盤に3点を先行有利なスタートを切っていた。だが投手陣に持ちごまの豊富な**安芸工**は1回半ばで早々と継投策を取って以後は中村の追加点を断ち、攻めては後半に疲れの出た中村の投手を捕らえて4-3と逆転勝ちした。序盤に先手を取ったのは中村だった。初回に一死から永野が四球、川村は内野失で出たあと、暴投でまず1点。この直後、中山が右中間にランニング本塁打を放ってこの回に3点を取り、**安芸工**の白石を攻略した。しかし、中村は序盤で有利なスタートを切ったものの、1回半ばから救援した野崎に8回まで3安打に抑えられて無得点。9回には三人目の山本実を攻めつけ無死満塁の好機を持ちながらスクイズ失敗で逸機し同点機をつぶした。これに対し、**安芸工**は中村の先発高津佐に4回まで無安打に抑えられチャンスは全くなかった。だが5回になって失策を足場に突然のように崩れた高津佐を一気に攻略した。この回に野崎勉、山本俊の安打で一死一、三塁の好機をつかみ、続く安岡の二ゴロは併殺を焦った野手の失策を誘ってまず1点。このあと二死から小松が右中間に三塁打して3点を取り同点。6回には2安打、死球でつかんだ二死満塁から安岡が押し出しの四球を得て逆転に成功した。中村は7回から中島を二番手に投入したが継投機が遅れて前半からの優位を守り切れなかった。

決勝戦の高知東—**安芸工**は高知東が畦地、**安芸工**は山本実が力投して投手戦を展開。0-0の均衡が破れないまま今大会4度目の延長戦にもつれ込んだが、高知東は10回に敵失から幸運な決勝点を拾い1-0で辛勝した。0-0で迎えた10回、高知東は先頭の岩本が四球で出ると、次打者の和田は手堅く送りバントを決めて一死二塁とした。ここで三番の小林は二飛に倒れて二死、続く筒井も一塁後方のライン際に飛球を打ち上げた。だがこれをややスタートが遅れた一塁手がグラブに当てながら落球、この間に岩本がかえって高知東は幸運な決勝点を拾った。それまでの試合展開は投手戦だったが、両チームはすき間をぬって激しい攻防戦を繰り広げた。高知東は5回に一死から橋田、楠瀬が連打したが、続く畦地の遊ゴロで併殺死。7回は右前打の山崎をバントで進めたあと、橋田が三遊間安打を放ったが、山崎が三本間で刺されて逸機。9回には一死から橋田が三遊間安打、さらに二盗し捕手の悪送球で三進したが、打順が下位に回って凡退。9安打を放って押しぎみにゲームを進めながら先制点はつかめなかった。一方、**安芸工**は畦地に5安打と抑えられ攻め苦しんでいたが、それでも果敢に攻勢、接戦に持ち込んでいた。2回は山本実が右翼手落球で出塁した好機に次打者は三振、山本実は二盗失敗で併殺。4回は小松貞が一塁線突破の二塁打を放ち、次打者の送りバントで一死三塁としながら続く三、四番に決定打が出ず凡退。7回には無死から前田、山下が連打したが、次打者の遊ゴロでまたも併殺を喫して逸機した。また、10回裏には野崎勉が死球、吉田は三遊間安打、このあと畦地のボークで一死二、三塁と攻め込み、一打同点、逆転機をつかみながら次打者が連続して畦地に内野ゴロに仕留められて好機をつぶした。

◆第35回春季四国地区高校野球大会県予選(S57.3.31~4.7.17.18)

一回戦 **安芸工** 6 - 1 大方商

二回戦 **安芸工** 4 - 1 伊野商

準々決勝 **安芸工** 4 - 2 高知工

準決勝 高知 8 - 3 **安芸工** (高)小川、傍士、朝比奈一芝 (安)野崎誠、白石、山本実—小松

◆第35回県高校体育大会野球の部(S57.5.22~25)

一回戦 **安芸工** 2 - 1 宿毛工

二回戦 **安芸工** 11 - 0 宇佐

準々決勝 **安芸工** 2 - 0 大方商

準決勝 中村 3 - 8 **安芸工** (中)高津佐、中島—中山 (安)白石、山本実—吉田

決勝戦 高知東 1 - 0 **安芸工** (東)畦地—橋田 (安)山本実—吉田

◆第64回全国高校野球選手権大会県大会 (S57. 7. 20~30)

一回戦 安芸工 13 - 0 大方商 7回コールド (安)山本実一吉田 (小)松井、中村_梅原

二回戦 安芸工 7 - 1 宿毛 (安)山本実一吉田 (宿)浦中一名倉

準々決勝 明徳 7 - 0 安芸工 7回コールド (明)弘田、山本賢_武田 (安)山本実、野崎誠一吉田

◆第26回県選抜高校野球大会 (S57. 8. 25~31)

一回戦 高知 6 - 1 安芸工

◆第35回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S57. 10. 30~11. 7)

一回戦 明徳 4 - 0 安芸工 (明)山本賢、福原良一和田直 (安)公文、桑原一川村

昭和58年

選抜大会で明徳が4強。夏の選手権大会は商知商が8強まで進出。春夏の甲子園で優勝した池田やPL学園を脅かす活躍を見せた。秋季四国地区大会県予選を今年から2校シート制とすることを決めた。選抜大会に2年連続して出場した明徳は昨年秋に死去した松田昇監督に代わって竹内茂夫監督が采配を取り、緻密な野球を展開。青森北、上宮、佐世保工を連破して上位へ快進撃した。

◆第36回春季四国地区高校野球大会県予選(S58. 3. 30~4. 5. 16)

一回戦 安芸工 5 - 1 高知高専

二回戦 安芸工 6 - 0 小津

準々決勝 高知 7 - 0 安芸工

◆第36回県高校体育大会野球の部(S58. 5. 21~24)

一回戦 須崎 4 - 2 安芸工

◆第65回全国高校野球選手権記念大会県大会 (S58. 7. 20~28)

一回戦 安芸工 2 - 11 高知商 7回コールド

(安)桑原、公文、長谷部一川村武 (高)津野、中山一楠目、中村

◆第27回県選抜高校野球大会 (S58. 8. 25~31)

一回戦 明徳 10 - 0 安芸工

◆第36回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S58. 10. 29~11. 6)

一回戦 安芸工 0 - 10 高知商 6回コールド (安)谷岡、前田一畠中 (高)松本進、十河一森田

昭和59年

春の選抜大会に出た明徳義塾が「夏の大会には弱い」の不名誉な風評を打破。宿願だった夏の甲子園にも初出場し、春夏連続してひのき舞台へこまを進めた。明徳義塾は秋の四国大会でも2連勝を飾って抜群の力を発揮。“明徳時代の到来”かと思われた。だがこの一年間の県内大会の上位争いは激烈。出色だった明徳義塾も今シーズンの前半戦では常勝できず、他の有力校に屈して県内大会の全タイトルは制覇できなかった。

第37回春季四国地区高校野球大会県予選。高知西一安芸工は両校が8安打ずつ打ち合う接戦を展開し、2-2のまま延長戦に突入した。11回になって高知西は2点を先取したが、安芸工はその裏、一死満塁の好機に川村、前田が殊勲打を放って5-4で逆転、サヨナラ勝ちした。

◆第37回春季四国地区高校野球大会県予選 (S59. 3. 31~4. 8. 21)

二回戦 安芸工 5 - 4 高知西

準々決勝 清水 2 - 1 安芸工

◆第37回県高校体育大会野球の部(S59. 5. 19~22)

一回戦 安芸工 11 - 3 安芸

二回戦 安芸工 4 - 2 小津

準々決勝 清水 9 - 0 安芸工

◆第66回全国高校野球選手権大会県大会 (S59. 7. 20~31)

一回戦 安芸工 3 - 2 高知高専 (安)前田、森沢一畠中 (高)岡崎、山崎一中江

二回戦 安芸工 0 - 7 清水 7回コールド (安)谷岡、森沢、石井_畠中 (清)立石一安田

◆第28回県選抜高校野球大会 (S59. 8. 25~29)

一回戦 安芸工 6 - 4

二回戦 高知 9 - 1 安芸工

◆第37回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S59. 11. 2~5. 9~12)

一回戦 安芸工 4 - 2 宇佐 (安)谷岡、森沢一安岡弘 (宇)野村一中西
 二回戦 安芸工 10 - 0 安芸 5回コールド (工)森沢一安岡 (芸)川竹、長谷一手嶋
 準々決勝 安芸工 0 - 7 明徳 8回コールド (安)森沢一安岡弘、依光 (明)山本一本間

昭和60年

今年の高校野球界は明暗が織り交じって多事多難の年だった。明徳義塾の前野球部長が売春防止法違反の疑いで逮捕される事件が起きた。このため、学校側は選抜大会への出場、推薦を辞退。県高野連も緊急理事会を開き事態を協議。センバツ推薦の取り消し手続きを取った。2月には高知市内で暴力団の銃撃戦などもあり、不穏に満ちた年明けとなっていた。そんな暗いニュースの最中、春の選抜高校野球大会に四国から伊野商、徳島商、池田、西侯が選ばれ出場した。この中から初出場の伊野商がひのき舞台で大活躍。渡辺智男投手を擁し快進撃を見せて初優勝。県内に漂った暗い出来事をかき消すような快挙を成し遂げた。

第67回全国高校野球選手権大会県大会 2回戦の高知西一安芸工は延長戦となり、14回、3時間13分の攻防の末、安芸工が2-1で高知西を振り切った。安芸工が15安打を放ち相手を圧倒していたが、粗い試合運びから逸機。8安打の高知西と互角に渡り合い、1-1のまま延長戦にもつれ込んだ。1-1で進んだ14回裏、安芸工は一死から前田が左越えに二塁打、続く竹内は三邪飛に倒れて二死となっていた。深尾も平凡な遊ゴロかと思われたが、野手からの送球を一塁手が落球。この間に前田がかえりサヨナラ勝ちした。

第34回秋季四国地区高校野球大会県予選。準々決勝の安芸工一清水は白熱した攻防戦を展開。5-5のまま、延長戦にもつれ込んだ。6-6のタイスコアで進んだ15回裏、清水はこの試合、231球と球数が多かった森沢投手に積極攻撃を仕掛けた。この回先頭の宮崎が初球を右前打、続く速川も初球を打ち一飛に倒れた。だが、主将で四番打者の田中は2-1からの好球を中越えに二塁打して宮崎を迎え入れ、この回わずか6球の速攻で決勝点をもぎ取った。先手を取ったのは安芸工だった。初回に清水の先発安田を捕らえ、佐竹、森沢が四球で出塁二死一、二塁から山崎が左越えに3点本塁打を放って優位に立った。だが清水も反撃。3回に2四球、安打でつかんだ二死満塁時に田中の右翼線二塁打で2点。さらに7回には二死二、三塁から好調の田中が左越えに本塁打して5-3と一時は逆転していた。清水は4回から安田に代わって田中がマウンドに立ち好救援していたが、9回二死になって気が緩み、安芸工の反撃にあった。攻める安芸工はこの回に山崎が左前打したが、続く松下の二ゴロで併殺を喫して二死。無走者となり勝負は決まったかのように見えた。だがこのあと、山本昭が中前打し大井、佐竹は連続死球を得て満塁と詰め寄り、深尾が右前打を放って2点を返し、土壇場で同点に追いつき延長戦にもつれ込んだ。延長後の12回、安芸工は二死三塁から森沢の遊ゴロ失で1点を取り、リードしたのもつかの間その裏、清水は一死から田中の中前打、畠中の右中間二塁打で加点し、またも6-6の同点となっていた。惜敗した安芸工は延長戦の終盤になって清水を圧倒していた。だが13、14回はともに一死一塁。15回には一死二塁の好機を持ちながら3併殺にあって絶好機をつぶした。

◆第38回春季四国地区高校野球大会県予選 (S60. 3. 30~4. 6. 20)

二回戦 高知 9 - 2 安芸工

◆第38回県高校体育大会野球の部(S60. 5. 25~28)

一回戦 高知商 7 - 0 安芸工

◆第67回全国高校野球選手権大会高知大会 (S60. 7. 20~29)

二回戦 高知西 1 - 2 安芸工 (高)梶田、竹内、前田、竹内一井上 (安)谷岡、森沢一川村
 準々決勝 明徳 12 - 1 安芸工 7回コールド (明)山本一本間 (安)谷岡、森沢一川村

◆第29回県選抜高校野球大会 (S60. 8. 26~30)

一回戦 安芸工 11 - 1 安芸

二回戦 清水 5 - 0 安芸工

◆第38回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S60. 11. 2~4-8~11)

二回戦 安芸工 5 - 0 高知東 (安)森沢一山崎 (高)土居一藤橋、信佐
 準々決勝 安芸工 6 - 7 清水 (安)森沢一山崎 (清)安田、田中一速川

昭和61年

今年の県勢チームは夏の甲子園で高知商が8強に進出したのが最高で、全般に全国大会でいま一つ戦績は振るわなかった。第39回春季四国地区高校野球大会県予選中盤戦では**安芸工**、宇佐の新鋭チームが活躍した。本格派投手、森沢を擁した**安芸工**は準々決勝で土佐を4安打の2点に抑えて5-2で快勝。4年ぶり2度目の4強進出を果たした。**安芸工**の森沢、5回を完全試合2回戦の**安芸工**一須崎戦で**安芸工**のエース森沢が好投した。速球を主体に力のこもったピッチングを披露して須崎打線を寄せつけず、**5回参考記録ながら完全試合を達成**。17-0、5回コールドで須崎に圧勝した。**安芸工**の森沢洋水投手は本格派として定評があったが、この日はカーブに頼るピッチングは見せず、速球主体に力で押しまくった。立ち上がりから4連続三振奪取の好スタートを切り、3回まで6三振と3内野ゴロに抑える素晴らしい出来栄。4、5回に3外野飛球があったが、毎回の9三振を奪い、5回を60球で締めくくった。攻撃陣も森沢をもり立て猛攻。須崎の先発柳、さらに下元、柳、竹村、下元と延べ5人の投手から毎回安打、毎回得点の14安打の猛襲で一方向的な試合展開にした。

安芸工、土佐に逆転勝ちし4強へ準々決勝の**安芸工**一土佐は高知商、高知工を倒して上位進出を狙う土佐が前半を終わって2-1とリードし、そのまま押し切るかと思われた。だが7回に手痛い失策を足場に形勢は一変し、この機を逃がさずに攻め込んだ**安芸工**が5-2で土佐に逆転勝ちした。前半、1-2と劣勢だった**安芸工**は6回までに8安打を放ち、土佐の4安打を上回りながらわずか1点どまりだった。ところが7回になって先頭の深尾がなんでもない飛球を打ち上げ、これを一塁手が落球して生きると、試合展開は一変した。続く佐竹和の一ゴロの間に深尾が二進、ここで山本真が右中間に三塁打を放って同点。なおも森沢は四球で出た一、三塁から山崎が三ゴロ、森沢は二封される間に山本真がかえって逆転。弾みをつけると、このあと松下、山本昭、大井が3連打し一挙4点を取ってそのまま逃げ切った。

第39回県高校体育大会野球の部は5月24日から27日までの4日間、県営春野、高知市営、高知商球場の3会場に25校が参加して開幕。夏の県大会の前哨戦とばかり各チームが熱戦を繰り広げた。今大会は須崎工、**安芸工**が活躍して序盤、中盤戦を盛り上げ、ベスト4に進出した。だが準決勝で高知、明德義塾の有力校の壁を突き破れず敗退。

◆第39回春季四国地区高校野球大会県予選 (S61. 3. 30~4. 5. 12)

二回戦 **安芸工** 17 - 0 須崎

準々決勝 **安芸工** 5 - 2 土佐

準決勝 **安芸工** 2 - 3 明德 (安)森沢一山本昭 (明)水尾一小谷

◆第39回県高校体育大会野球の部(S61. 5. 24~27)

二回戦 **安芸工** 8 - 3 岡豊

準々決勝 **安芸工** 3 - 0 高知工

準決勝 **安芸工** 2 - 6 高知 (安)森沢、堺一山本昭 (高)和田一大坪、市川

◆第68回全国高校野球選手権大会県大会 (S61. 7. 20~29)

一回戦 **安芸工** 11 - 0 中央 7回コールド (安)森沢、佐竹利一山本昭 (中)西村、井上一野村

二回戦 **安芸工** 7 - 3 高知高専 (安)森沢一山本昭 (専)柳瀬一桃平

準々決勝 **安芸工** 0 - 11 明德 7回コールド (安)森沢、佐竹利一山本昭 (明)水尾、近森一小谷

◆第30回県選抜高校野球大会 (S61. 8. 25~29)

一回戦 高知商 4 - 2 **安芸工**

◆第39回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S61. 11. 1~3. 7~10)

一回戦 高知工 5 - 2 **安芸工** (高)入交一田中 (安)堺一坂田

昭和62年

県内に抜群のチームはおらず低迷、盛り上がりを欠いた年となった。春の選抜大会には明德義塾、夏の甲子園には伊野商が出場したが、春夏ともに1回戦で早々と敗退。県内チームが甲子園で春夏とも初戦敗退したのは昭和56年以来、6年ぶり2度目のワースト記録となった。輝かしい球歴を誇る尚知の商校野球も年々下降線をたどっている感じで「最近の県内高校野球はどうなっているのか」「昔と比べ落ち込みようがひどい」といったファンの声が一段と間まった。

この1年間の県内大会を眺めても各校の力は伯仲。春の高校野球県予選は高知商。5月の県体では高知、明德義塾の2校が優勝した。だが7月に行われた全国尚校選手権県大会では伏兵の伊野商が有力校を連破し夏の甲子園へ初出場する快進蝶があった。

◆第40回春季四国地区高校野球大会県予選 (S62. 3. 30~4. 5. 18)

二回戦 安芸工 3 - 1 伊野商

準々決勝 高知商 4 - 1 安芸工

◆第40回県高校体育大会野球の部(S62. 5. 24~26)

二回戦 明德 12 - 0 安芸工

◆第69回全国高校野球選手権大会県大会 (S62. 7. 20~29)

一回戦 安芸工 0 - 7 伊野商 7回コールド (安)堺、松下一山崎 (伊)中川一大川

◆第40回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S62. 11. 1~3. 6~9)

一回戦 安芸工 0 - 3 小津

(安)松下一小島 (小)山崎一小野川

昭和63年

高知商が春夏連続して甲子園出場を果たしたが、ひのき舞台での戦績は不振。県勢チームは前年と同様、依然として低迷が続いた。この1年間は有力校が三つ巴の激戦を展開。シーズンの前半は高知商、後半は明德義塾の活躍が目をつけた。

第41回春季四国地区高校野球大会県予選1回戦の安芸工-高知は好調だった高知が9-0、8回コールドで安芸工に大勝したが、この試合で高知の西山投手は8回コールドの参考記録ながら無安打に無四球、1内野失の内容でノーヒットノーラン試合を達成。

◆第41回春季四国地区高校野球大会県予選 (S63. 3. 30~4. 6. 16)

一回戦 高知 9 - 0 安芸工

◆第41回県高校体育大会野球の部(S63. 5. 21~24)

一回戦 安芸工 1 - 0 高知東工

二回戦 安芸工 4 - 1 中村

準々決勝 安芸工 1 - 4 宇佐 (安)松下、野崎一小島 (宇)横山一山崎

◆第70回全国高校野球選手権記念大会高知大会 (S63. 7. 17~27)

一回戦 安芸工 1 - 2 須崎工 (安)松下、野崎一小島 (須)西川一安田

◆第41回秋季四国地区高校野球大会県予選 (S63. 10. 26~11. 1)

二回戦 安芸工 5 - 4 大方商 (安)松下、吉永、野崎一小島 (大)沢田、竹本一中野

準々決勝 安芸工 4 - 0 宿毛工 (安)松下一小島 (宿)山崎、坂本一宮川

準決勝 安芸工 0 - 10 土佐 (安)松下、野崎、吉永一小島 (土)山根、河村、川村純一仙頭

平成元年

昭和64年1月7日に昭和天皇が崩御。これで昭和の年代は終わり、年号は「平成」と新しい時代に移り変わった。この年は2月1日に第61回選抜高校野球大会の出場校が発表されたが、県勢チームは選考から漏れ、16年ぶりに出場校はなかった。

◆第42回春季四国地区高校野球大会県予選 (H1. 3. 30～4. 6.)

一回戦 安芸工2 - 1 高知南

二回戦 安芸工2 - 1 岡豊

準々決勝 安芸工5 - 11 高知商 (安)植野、田村一松下 (高)吉岡、竹下、原田、水田一田中

◆第42回県高校体育大会野球の部(H1. 5. 20～23)

二回戦 安芸工6 - 3 中村

準々決勝 安芸工4 - 10 高知 (安)野崎、吉永一小島 (高)徳久、島崎、浜田真一南、四木

◆第71回全国高校野球選手権大会県大会(H1. 7. 15～27)

一回戦 安芸工2 - 8 中村 (安)松下一小島 (中)和田一北代

◆第42回秋季四国地区高校野球大会県予選(H1. 10. 25～31)

一回戦 安芸工1 - 2 高知 (安)野崎一大木 (高)酒井一南

平成2年

県内では平成時代への移り変わりとともにベテラン監督が相次いで辞任。高校野球の監督群像も新しい時代へ向けて一段と若返った。この年の春、選抜大会に出場した高知の岡本道雄監督が退任。後任は光内数喜氏が引き継いだ。また、夏の県大会が終わって間もなくの8月、明德義塾の竹内茂夫監督も辞任。馬淵史郎コーチが監督に昇格した。ちなみに昨年の平成元年4月には中村の市川幸輝監督も教員異動で宿毛高へ転任、これを機に高校野球から身を引いた。このように平成時代に入って一、二年の間に甲子園出場監督が一挙に3人も辞任。近年、精彩を欠く県高校野球のレベル低下に輪を掛けた感じも抱かせた。この1年間の県内チームの動静は有力校も伸び悩んで低迷。小競り合い、つぶし合いが演ぜられた。

◆第43回春季四国地区高校野球大会県予選 (H2. 3. 30～4. 8. 15)

一回戦 安芸工4 - 2 高知南

二回戦 安芸工3 - 0 高知高専

準々決勝 追手前8 - 6 安芸工

◆第43回県高校体育大会野球の部 (H2. 5. 20～22)

一回戦 岡豊2 - 0 安芸工

◆第72回全国高校野球選手権大会県大会 (H2. 7. 18～27)

一回戦 安芸工5 - 4 中村 (安)野崎一大木 (中)奥田一大塚

二回戦 安芸工5 - 0 中央 (安)野崎一大木 (中)猪野、井上、間城一南

準々決勝 安芸工2 - 3 宿毛 (安)野崎一大木 (宿)浦木一谷本

◆第34回県高校選抜野球大会(H2. 8. 25～29)

一回戦 安芸工3 - 0 高知高専

二回戦 高知商4 - 3 安芸工

◆第43回秋季四国地区高校野球大会県予選 (H2. 11. 2～5. 10～13)

一回戦 清水1 - 4 安芸工 (清)速川一平林 (安)西岡一小松

二回戦 安芸工2 - 9 高知商 7回コールド (安)山川、西岡一小松 (高)宮内、矢野一林

平成3年

平成3年の県勢チームは甲子園はもとより春秋の四国大会でも戦績は振るわずここ数年と同様、低調ぶりをかこった。加えてこの年の選抜高校野球大会は2年ぶりに本県勢の出場はなく、衰退ぶりに輪をかけた。県内では高知商、明德義塾、高知が各大会で上位争いを演じたが、これら有力枝もずば抜けた強さはなく、力は横一線。各大会で一進一退の様相を見せた。7月の全国高校野球選手権県大会では組み合わせの不運から片方のゾーンに有力枝が密集。また、波乱もあって初戦から激戦が展開された。初戦で高知が高知東工にまさかの初戦敗退を喫し、準々決勝では高知商も好調の高知東工に苦しめられ、3-1で競り勝った。準決勝に進むと、明德は宿敵高知商と追いつ追われつの激闘を展開。打撃戦の末、6-5で高知商にサヨナラ勝ちした。勢いに乗ると、決勝で追手前を2-0で倒し、7年ぶりに夏の甲子園へ出場した。

◆第44回春季四国地区高校野球大会県予選 (H3. 3. 31~4. 5. 8)

一回戦 安芸工 3 - 2 宿毛工

二回戦 安芸工 5 - 0 高知西

準々決勝 明德 4 - 1 安芸工

◆第44回県高校体育大会野球の部 (H3. 5. 25~28)

一回戦 室戸 9 - 6 安芸工

◆第73回全国高校野球選手権大会県大会 (H3. 7. 18~30)

一回戦 安芸工 15 - 3 須崎工 7回コールド (安)西岡、山川一小松 (須)古谷、岡村一鎌倉

二回戦 小津 4 - 2 安芸工 (小)松田一梅原 (安)西岡、山川一小松

◆第44回秋季四国地区高校野球大会県予選 (H3. 11. 1~5. 9~12)

一回戦 安芸工 0 - 7 土佐 7回コールド (安)山本一小松 (土)吉川一岸本

平成4年

平成4年は春の選抜高校野球大会に県勢チームの出場は無かった。2年連続して出場校が無かったのは昭和44、45年に続き22年ぶり3度目で、野球関係者やファンは甲子園の熱闘を伝えるテレビ放送が他人事のように映った。夏の甲子園に出場した明德義塾は2回戦で星稜と対戦。強打で定評のあった松井秀喜三塁手(巨人)が打席に入ると、走者のある無しにかかわらず徹底して5連続敬遠の四球作戦を展開。3-2で星稜に勝ったが、三塁側の星稜高応援団から怒声とともにメガホンなどが投げ込まれ、試合が一時中断される事態が起きた。この一件は、しばらく話題となり「あれはやり過ぎで、1回ぐらいは勝負してもよかった。高知が嫌になった」「ルール違反をしたわけではないし、勝つためには作戦として仕方がない」といった賛否両論が渦巻き、世上をにぎわした。

県内初の珍事無安打だったチームが敵失から決勝点を拾って勝利を飾るといふ県内公式戦初の珍事の試合があった。県内大会で9安打を放ち相手を終始して押しまくりながら無得点。一方、無安打で勝利飾る。平成4年、春の四国高校野球県予選でこの大会好調だった高知西と安芸工が準々決勝で対決した。この一戦、安芸工は高知西の谷口投手を攻勢。9安打を放って5、8回を除き塁上に走者をにぎわしたが、相手の堅い守りに阻まれて無得点に終わった。守っては山本投手がシュートを武器に好投。4四球を出したが、相手打線を無安打に抑えた。だが勝利の女神は高知西に肩入れした。苦戦ぎみだった高知西は4回、谷口が三ゴロ、内野失で生きて一挙二進。三盗を決めたあと、続く杉本も遊ゴロだったが、相手野手の悪送球で生きこの間に谷口が生還。この得点を守り切って1-0で安芸工に辛勝。勢いをつけると安芸、明德義塾を倒してこの大会で初優勝を飾った。高知西の岡林俊彦監督は平成7年の春、勇退したが、約三十年間の長い監督を振り返って「この試合も忘れられない思い出の一つ」と往時を述懐している。

◆第45回春季四国地区高校野球大会県予選 (H4. 3. 30~4. 7)

一回戦 安芸工 5 - 4 室戸

二回戦 安芸工 9 - 3 窪川

準々決勝 高知西 1 - 0 安芸工

◆第45回県高校体育大会野球の部 (H4. 5. 23~26)

一回戦 高知商 19 - 0 安芸工

◆第74回全国高校野球選手権大会県大会 (H4. 7. 19~29)

一回戦 追手前 0 - 3 安芸工 (追)鎌倉一塩見 (安)小原一小松

二回戦 安芸工 0 - 4 須崎 (安)清岡、山本、小原一小松 (須)森田聖一森田隆

◆第36回県高校選抜野球大会(H4. 8. 24~31)

一回戦 岡豊 10 - 3 安芸工

◆第45回秋季四国地区高校野球大会県予選(H4. 10. 31~3. 6~10)

一回戦 安芸工 2 - 3 須崎工 (安)清岡一小松 (須)和田一鎌倉

平成5年

県勢チームは3年ぶりに選抜高校野球大会に出場した。この大会に土佐が17年ぶり6度目の出場を決め、文武両道を掲げる校風、純真なプレーで高校野球ファンに土佐の健在ぶりをアピールした。だが土佐は2回戦で先制、再リードの健闘もむなしく、最終回に3-5で東北に逆転負けした。この年、県内では土佐に追いつき、追い越せとばかり高知商の巻き返しが目立った。昨秋の四国大会県予選で土佐に初戦敗退した高知商は屈辱をバネにして冬場のトレーニングで打力を中心にチーム力を強化。奮起して今シーズンの各大会に臨んだ。

◆第46回春季四国地区高校野球大会県予選(H5. 3. 30~4. 5)

一回戦 安芸工 11 - 2 高知

二回戦 安芸工 6 - 4 須崎

準々決勝 小津 5 - 2 安芸工

◆第46回県高校体育大会野球の部(H5. 5. 23~25)

一回戦 安芸 9 - 5 安芸工

◆第75回全国高校野球選手権記念大会県大会(H5. 7. 18~30)

一回戦 安芸工 2 - 6 小津 (安)渦岡一小松 (小)中沢一弘光

◆第37回県高校選抜野球大会(H5. 8. 24~28)

一回戦 安芸工 4 - 3 宿毛

二回戦 明德 10 - 1 安芸工

◆第46回秋季四国地区高校野球大会県予選(H5. 10. 30~31. 11. 3~8)

一回戦 安芸工 2 - 3 土佐 (安)隅田一森本 (土)柏井、田中一大崎

平成6年

第66回選抜高校野球大会に高知商が6年ぶり14度目の出場を果たした。甲子園では1回戦で6-0と那覇商に快勝したあと、2回戦で常総学院と対戦した。両校の戦力は高知商がパワーでは上回っていると思われたが、足攻め、スクイズとち密な野球をする常総学院の木内幸男監督の戦法にリズムを狂わされて0-2で敗退。上位進出は成らなかった。この年、県内では昨年、県下大会の全タイトルを独占し常勝を誇っていた高知商に代わって高知が台頭、躍進ぶりが目を引いた。

◆第47回春季四国地区高校野球大会県予選(H6. 3. 26~4. 4)

一回戦 安芸工 2 - 1 安芸

二回戦 須崎工 9 - 2 安芸工

◆第47回県高校体育大会野球の部(H6. 5. 21~24)

一回戦 室戸 4 - 3 安芸工

◆第76回全国高校野球選手権大会県大会(H6. 7. 17~29)

一回戦 安芸工 3 - 1 須崎 (安)隅田、小原一森本 (須)田中一古谷

二回戦 安芸工 3 - 4 小津 (安)半田一森本 (小)森本一菊池

◆第38回県選抜高校野球大会(H6. 8. 24~28)

一回戦 安芸工 5 - 3 土佐

二回戦 安芸工 8 - 3 宿毛

準決勝 安芸工 2 - 17 伊野商 (安)半田、小原一寺岡、長田 (伊)池田、竹田一氏原、山中

◆第47回秋季四国地区高校野球大会県予選(H6. 10. 29~11. 1. 3~6)

一回戦 安芸工 4 - 7 清水 (安)小原一寺岡 (清)松本一南部

平成7年

選抜大会に高知が5年ぶりに出たが、前橋工に5-4で初戦敗退。優勝したのは同じ四国勢の観音寺中央だった。また、夏の甲子園は高知商が2年ぶりに出場。1回戦は7-5で盛岡大付に勝ったものの、2回戦で選抜準優勝の銚子商に3-0で屈し、ここ数年来と同様、県勢チームは不振をかこった。県内ではこの一年間は抜群のチームが台頭せず、有力校も一進一退の激突が繰り返された。

◆第48回春季四国地区高校野球大会県予選 (H7.3.25~4.5)

一回戦 安芸工 7 - 4 窪川

二回戦 明德 9 - 4 安芸工

◆第48回県高校体育大会野球の部 (H7.5.20~23)

一回戦 明德 3 - 1 安芸工

◆第77回全国高校野球選手権大会県大会 (H7.7.20~29)

一回戦 小津 3 - 13 安芸工 7回コールド (小)山口、吉川、森山-吉川、山口 (安)小原-寺岡

二回戦 安芸工 0 - 10 高知商 8回コールド (安)小原-寺岡 (高)東出-山下

◆第48回秋季四国地区高校野球大会県予選 (H7.10.28~11.2)

一回戦 高知東工 10 - 9 安芸工 (東)山崎-三宮、宮崎 (安)笠松、竹村-寺岡

平成8年

明德義塾が春夏連続の甲子園出場を果たした。県勢チームは戦後の黄金時代に高知商、土佐、高知、明德義塾などが何度も春夏連続の出場を果たしていたが近年は遠去かり、昭和63年の高知商以来8年ぶり、明德にとっては13年ぶりの快挙だった。同校は平成2年に竹内茂夫氏から馬淵史郎氏に監督をバトンタッチして以来、甲子園では1,2勝する力をつけて上位に進出。

◆第49回春季四国地区高校野球大会県予選 (H8.3.28~4.6.14)

一回戦 西土佐 7 - 3 安芸工

◆第49回県高校体育大会野球の部 (H8.5.25~28)

一回戦 高知東工 9 - 7 安芸工

◆第78回全国高校野球選手権大会 (H8.7.20~28)

一回戦 安芸工 5 - 0 宿毛工 (安)太田賢-寺岡 (宿)和田-小野

二回戦 安芸工 15 - 2 宇佐 7回コールド (安)太田賢、田淵-寺岡 (宇)前田、武内、中山-竹田
準々決勝 安芸工 0 - 15 高知商 7回コールド (安)太田賢、田淵、竹村-寺岡 (高)龍尾-山下

◆第40回県選抜高校野球大会 (H8.8.22~27)

一回戦 伊野商 8 - 1 安芸工

◆第49回秋季四国地区高校野球大会県予選 (H8.10.27~11.4)

一回戦 安芸工 11 - 0 須崎工 5回コールド (安)太田-曾我 (須)谷-和田

二回戦 安芸工 1 - 8 西土佐 7回コールド (安)太田-曾我 (西)尾崎安、尾崎健-尾崎健、尾崎安

平成9年

県勢は抜群の強さを見せるチームも見当たらず群雄割拠の感じだった。春の選抜大会は明德義塾が出場したが2回戦どまり。また、夏の甲子園に出た高知商もこれまた2回戦で敗退。上位進出はできず全国レベルの壁は厚かった。県内、四国大会の戦績を見ても県勢に抜き出したチームはおらず大会ごとに優勝校が入れ替わった。さらにこの年は中芸高が昭和25年の県体出場以来、47年ぶりに野球部を復活。新たに宿毛高大大月分校に野球部が誕生して両チームとも夏の県大会に参加。県大会は最多の32校出場と盛り上がった。

◆第50回春季四国地区高校野球大会県予選 (H9.3.28~4.7.13)

一回戦 土佐 10 - 1 安芸工

◆第50回県高校体育大会野球の部 (H9.5.24~27)

一回戦 須崎 2 - 1 安芸工

◆第79回全国高校野球選手権大会 (H9.7.20~29)

一回戦 岡豊 10 - 4 安芸工 (岡)吉岡、西本-中西 (安)太田-曾我

◆第50回秋季四国地区高校野球大会県予選 (H9.10.26~11.3)

一回戦 城山 1 - 8 安芸工 7回コールド (城)西山、安藤-小松太 (安)竹本-野老山、西内

二回戦 高知東工 6 - 0 安芸工 (東)西田、上西-内山 (安)竹本、松岡-西内、野老山

平成10年

平成10年の高知の高校野球は全国レベルと比べても力量がアップ。甲子園の戦績を見ても好成績を残し活躍が注目された。この年の高校野球は松坂大輔投手を擁した横浜が春夏の甲子園に国体と史上初の全国大会三冠を達成し話題をにぎわした。だがこの王者横浜も夏の甲子園の準決勝で明德義塾と対戦し窮地に追い込まれた。明德義塾が8回表を終わって6-0と優勢に試合を進めたが、最後は6-7で逆転負け。横浜の渡辺元智監督は「明德に6点目が入った時、負けを覚悟していた」と言わしめたほどの白熱した戦いを繰り広げたのは記憶に新しい。

◆第51回春季四国地区高校野球大会県予選 (H10. 3. 28~4. 5. 12)

一回戦 高知南 5 - 2 安芸工

◆第51回県高校体育大会野球の部 (H10. 5. 23~26)

一回戦 安芸工 1 - 0 室戸

二回戦 追手前 9 - 0 安芸工

◆第80回全国高校野球選手権県大会 (H10. 7. 20~30)

一回戦 大方商 3 - 11 安芸工 (大)津野、宮川、尾崎一中川、浜口 (安)竹本、松岡一野老山、西内

二回戦 岡豊 12 - 2 安芸工 (岡)田中、吉岡一藤原 (安)竹本一野老山

◆第42回県選抜高校野球大会 (H10. 8. 22~28)

一回戦 土佐 10 - 0 安芸工

◆第51回秋季四国地区高校野球大会県予選 (H10. 31~11. 8)

一回戦 須崎 8 - 10 安芸工 (須)三本、市川一川田 (安)松岡、浜田一西内

二回戦 安芸工 0 - 15 中村 5回コールド (安)松岡、浜田一西内 (中)森、山本一田村

平成11年

平成11年は県代表の明德義塾の評価が高まった。前年春の選抜大会でベスト8に進出。延長10回の末、PL学園に3-2で敗退。同年夏の選手権大会の準決勝で優勝した横浜と対決。6点差をつけ相手を苦しめながら逆転サヨナラ負けを喫して惜敗した実績から平成11年の春夏甲子園では優勝候補に挙げられ高い評価を受けていた。県内大会では明德義塾の王者ぶりは安泰だった。春の四国大会県予選では岡豊が初優勝したが、四国大会県代表決定戦では岡豊に大差をつけて四国大会に出場。また、5月の県体では陣容を組み直したため岡豊に敗退。大会は雨のため決勝戦はなく岡豊が土佐とともに2校優勝した。だが夏の県大会が近づくとも明德義塾は力量を発揮。夏の甲子園出場を勝ち取ると8月の県選抜大会、さらに秋の四国大会県予選にも連勝しどこもストップをかけられなかった。

◆第52回春季四国地区高校野球大会県予選 (H11. 3. 28~4. 4. 20)

一回戦 岡豊 8 - 0 安芸工

◆第52回県高校体育大会野球の部 (H11. 5. 22~25)

一回戦 窪川 3 - 1 安芸工

◆第81回全国高校野球選手権県大会 (H11. 7. 18~8. 1)

二回戦 小津 6 - 11 安芸工 (小)藤城、橋田、岡田一中山 (安)松岡、浜田一西内

三回戦 安芸工 3 - 12 高知商 (安)浜田、松岡一西内 (高)森山、尾神、長友一福本

◆第52回秋季四国地区高校野球大会県予選 (H11. 10. 30~11. 8)

一回戦 安芸工 5 - 9 中芸 (安)浜田、中野一古井、梶佐古 (中)牛窓一野村

平成12年

平成12年の県高校野球は良くも悪くもなく特筆すべき戦績もなかった。県内の王者、明德義塾は春夏の甲子園に出場したが、春は準々決勝で鳥羽(京都)に12-5で敗れてベスト8止まり。夏は1回戦は勝ち抜いたが、2回戦で宿敵のPL学園(大阪)に9-4で屈し上位進出は成らなかった。次いで県内大会を眺めると県内トップの明德義塾が県体と秋の四国大会県予選でともに準々決勝で敗れたことで2大会の上位争いは激烈となった。

第53回春季四国地区高校野球大会県予選、**安芸工**一窪川は先行した窪川を猛追した。**安芸工**が4-4の同点に追いついて今大会2度目の延長戦に突入。攻防13回表に**安芸工**は一死三塁から9番の梶佐古が右前打を放って決勝点を取り、5-4で逆転勝ちした。

◆第53回春季四国地区高校野球大会県予選(H12.3.29~4.6.16)

一回戦 **安芸工** 12 - 0 城山

二回戦 **安芸工** 5 - 4 窪川

準々決勝 高知東 2 - 1 **安芸工**

◆第82回全国高校野球選手権県大会(H12.7.20~8.1)

一回戦 **安芸工** 7 - 13 須崎工 (安)浜田一梶佐古 (須)高橋徹一寺村

◆第53回秋季四国地区高校野球大会県予選(H12.9.25~27.10.)

一回戦 **安芸** 8 - 6 **安芸工** (安)内川一島田 (工)仲田、野崎一武井

平成13年

平成13年の県高校野球は春の選抜大会に高知が6年ぶりに出場。夏の甲子園は明德義塾が4年連続出場と春夏の甲子園出場校の顔ぶれが例年と比べやや異なった。この異変の発端は昨年秋の四国大会県予選の準々決勝で明德義塾が10-11で高知東に敗退。6年連続の選抜大会出場の夢が消えたことから起きた。この1敗を肝に銘じ巻き返しに燃える明德義塾は長い冬の間も馬淵監督をはじめコーチ陣総出でノックに明け暮れ、練習量は前年と比べようもなく多かったといわれる。

◆第54回春季四国地区高校野球大会県予選(H13.3.27~4.5.15)

一回戦 須崎工 11 - 4 **安芸工**

◆第83回全国高校野球選手権県大会(H13.7.20~28)

一回戦 **安芸工** 1 - 8 **安芸** 8回コールド (工)仲田、新玉、野崎一武井 (安)内川一島田

◆第54回秋季四国地区高校野球大会県予選(H13.9.22~10.30)

一回戦 **安芸工** 6 - 13 須崎 7回コールド (安)仲田一武井 (須)崎山、岩崎一松山

一校名変更により、安芸工業高校から安芸桜ヶ丘高校へと一

平成14年

平成14年に高知では感動し沸き立つ県スポーツ界の大きな出来事が二つもあった。この年の8月に開かれた第84回全国高校野球選手権大会に5年連続9度目の出場をした明德義塾は一戦ごとに‘快進撃。3回戦では7-6で常総学院に苦戦勝ちする一番もあったが、これを勝ち抜くと終盤では大勝して勝ち進み、決勝では7-2で智弁和歌山を下して初優勝した。高知県勢としては昭和39年の高知以来、38年ぶりに深紅の大優勝旗が土佐路にはためいた忘れられない年となった。昭和39年の高知優勝で思い出したが、この年は東京オリンピックが開かれた年に高知が優勝。また、平成14年はよさこい高知国体が開かれた年に明德義塾が優勝。スポーツの総合体育大会と高知の高校野球は相似性というか、関連があるような気がしてならない。

◆第84回全国高校野球選手権県大会(H14.7.20~28)

一回戦 桜ヶ丘 0 - 7 岡豊 7回コールド (桜)仲田一武井 (岡)金子一横田

平成15年

平成15年の県高校野球界は前年に明德義塾が夏の甲子園で初優勝したような大きな感動もなく、平静に戻った感じの一年だった。前年に大偉業を達成した明德義塾はメンバーが入れ替わり、大きな仕事を成し遂げた後の脱力感からか、春の選抜大会では3回戦でライバルの横浜にまたも敗退。夏の甲子園では2回戦で平安に惜敗し連覇は成らなかった。甲子園では勝てなかったが、県内ではやはり王者の貫禄を見せた。春の四国大会県代表決定戦では延長戦の末、高知商に2-1で敗退したが、その後の公式戦は無敗だった。

◆第56回春季四国地区高校野球大会県予選(H15.3.28~4.6.13)

二回戦 伊野商 13 - 0 桜ヶ丘

◆第85回全国高校野球選手権県大会(H15.7.19~28)

一回戦 西土佐 18 - 8 桜ヶ丘 7回コールド (西)林一武田 (桜)小松重、山内、大西一堀川

◆第56回秋季四国地区高校野球大会県予選(H15.9.13~10.5)

一回戦 桜ヶ丘 4 - 14 宿毛 5回コールド (桜)小松重一堀川 (宿)北下一富永

平成16年

平成16年は明德義塾が春夏の甲子園に出場して活躍、平成14年夏の全国優勝以来の好成績を残した。この年の選抜高校野球大会に3年連続12回目の出場を果たした明德義塾は桐生一、八幡商、東海大山形を連破してベスト4に進出。準決勝で済美と四国対決となり、昨秋の四国大会に続いてまたも済美に1点差で惜敗。県勢16年ぶりの決勝進出は果たせなかった。夏の甲子園への出場を決める県大会の決勝は明德義塾が4-2で高知商を下し、戦後全国初となる7年連続(11度目)の甲子園出場を決めた。これまでは松商学園(長野)が昭和50年から55年までの6年連続があり、これを抜く戦後新記録となった。

◆第57回春季四国地区高校野球大会県予選(H16.3.28~4.6.11)

一回戦 清水 6 - 0 桜ヶ丘

◆第86回全国高校野球選手権県大会(H16.7.17~25)

一回戦 桜ヶ丘 2 - 3 高岡 (桜)山内一梶佐古 (高)藤田一藤岡

◆第57回秋季四国地区高校野球大会県予選(H16.9.18~26.10.2~11)

一回戦 桜ヶ丘 3 - 4 大月 (桜)山内一大西 (大)中川一坂本純

平成17年

平成17年は高校野球界に不祥事が相次ぎ、暗い影を落とした一年でもあった。この年の8月4日、第87回全国高校野球選手権大会の始まる2日前に本県出場校の明德義塾の野球部内で部員の暴力行為などの不祥事が投書で発覚。明德が大会出場を辞退。急遽県大会準優勝の高知高が代わりに出場するという異例の事態が起きた。

第57回春季四国地区高校野球大会県予選において、安芸桜ヶ丘高校が校名変更後、公式戦で初勝利を挙げました。第87回全国高校野球選手権県大会、安芸桜ヶ丘高校が校名変更後、夏初勝利を挙げました。

◆第58回春季四国地区高校野球大会県予選(H17.3.28~4.6.11)

一回戦 桜ヶ丘 6 - 0 高岡

二回戦 岡豊 8 - 0 桜ヶ丘

◆第87回全国高校野球選手権県大会(H17.7.16~24)

一回戦 大方 4 - 8 桜ヶ丘 (大)野並一小松 (桜)山内、森一大西

二回戦 桜ヶ丘 2 - 4 高知商 (桜)小松重、山内一大西 (高)中平、小松一竹身、宮下

◆第58回秋季四国地区高校野球大会県予選(H17.9.17~19.9.23~25.10.2.8)

一回戦 高知西 15 - 1 桜ヶ丘 6回コールド (西)池田一尾下 (桜)森一武井

平成18年

平成18年の県内高校野球は前年に謹慎の処分を受けた明德義塾が7カ月間の対外試合禁止の処分が3月2日で解け、飯野勝監督の指揮で春季県予選から復帰して公式戦に登場、新たな第一歩のスタートを切った。

5月には丸の内高野球部が県高野連に加盟し夏の県大会に41年ぶりに復帰して出場した。さらに6月11日には高知で日米高校野球の第2戦が開かれ、本県では平成4年の日豪親善試合以来、14年ぶりに海外選抜チームが来高。県選抜チームとなごやかな交歓試合が繰り広げられた。

第59回秋季四国地区高校野球大会県予選。桜ヶ丘は7回7点で高知工業に逆転勝ち。2002年春に校名変更して以来初の秋季大会勝利を記録した。桜ヶ丘は3点を追う7回、二死無走者から畳み掛けた。松本がフェンス直撃の三塁打の後、打撃妨害、四球出塁で塁を埋め、信田、吉川、森、安岡の適時打などで一気に7点。攻めに粗さはあったが、6長打とバットを振った。守りも初回の併殺、8回遊撃安岡の好捕など高知工の反撃を摘んだ。

◆第59回春季四国地区高校野球大会県予選(H18.3.28~4.6.)

一回戦 明德 7 - 0 桜ヶ丘

◆第88回全国高校野球選手権県大会(H18.7.15~26)

一回戦 桜ヶ丘 1 - 8 海洋 (桜)森一武井(海)山岡一中越

◆第59回秋季四国地区高校野球大会県予選(H18.9.18~25.9.30~10.8)

一回戦 高知工 6 - 10 桜ヶ丘 (工)荒木、浜田、山崎一岩戸、日林 (桜)森一武井

二回戦 高知 12 - 0 桜ヶ丘 5回コールド(高)森田、猪谷、宮川一矢野 (桜)柿本、森一武井

平成19年

平成19年の高知の春は全国のどこよりも桜花らんまんの様相だった。第79回選抜高校野球大会の出場校を決める選考委員会が開かれて出場32校が決定。四国地区から今治西、室戸、高知の3校が選ばれた。四国地区は昨年秋、高知が明治神宮大会で優勝したためセンバツでは「神宮大会枠」として四国地区の出場枠が1つ増えるとされていたが、現実にこれが具体化されると喜びはまたひとしおで県内は歓喜で沸き立った。県勢がセンバツに選ばれたのは3年ぶりで、ダブル出場は25年ぶり5度目の快挙だった。

第60回春季四国地区高校野球大会県予選。桜ヶ丘一宿毛工。先行して追いつかれた桜ヶ丘は4-4の9回2点を奪い宿毛工を振り切った。桜ヶ丘は9回ヒットで出た下司を安岡の右翼線二塁打で返し、安岡も相手暴投で生還した。先発森は、常にストライク先行の丁寧な投球。5回から8回に死球や失策もあって1点ずつ失ったが、連打を許さず、最少失点にとどめた。9人ぎりぎりで行った桜ヶ丘は、投打がかみ合い秋季大会に続く初戦突破。

◆第60回春季四国地区高校野球大会県予選(H19.3.28~4.5.7.8)

一回戦 桜ヶ丘 6 - 4 宿毛工

二回戦 小津 14 - 3 桜ヶ丘

◆第89回全国高校野球選手権県大会(H19.7.21~29)

一回戦 桜ヶ丘 3 - 10 高知工 (桜)森、柿本一武井(高)荒木、高橋一岩戸

◆第51回県選抜高校野球大会(H19.8.24~29)

一回戦 明德 10 - 0 桜ヶ丘

◆第60回秋季四国地区高校野球大会県予選(H19.9.15~10.7)

一回戦 桜ヶ丘 3 - 2 宿毛工 (桜)柿本一黒岩(宿)山崎一、麻田一森本

二回戦 桜ヶ丘 3 - 6 高知工 (桜)柿本一黒岩(工)浜田、高橋、荒木一中村、矢野

平成20年

平成20年の県高校野球界は近年になく新陳代謝が激しかった。県内では平成14年に全国選手権で優勝した明德義塾が抜群の力を発揮して平成14年から16年までほとんどの県内大会のタイトルを独占。王者の貫禄を発揮していた。それが平成17年夏に甲子園入り後に不祥事が発覚して甲子園大会の出場を辞退。それ以来チームに陰りが見えて復帰後の平成18年は県内大会で1勝。19年にはタイトルを3勝に増やし往時に戻りつつあるかに見えた。しかし、平成20年に選抜大会出場後の県内大会では春季四国大会の県代表決定戦で土佐に5-1で敗退。2位校として出場した四国大会では優勝した。

◆第61回春季四国地区高校野球大会県予選(H20.3.28~4.6.13)

一回戦 高知工 20 - 2 桜ヶ丘

◆第90回全国高校野球選手権県大会(H20.7.12~25)

一回戦 桜ヶ丘 0 - 10 高知商 5回コールド (桜)柿本一山本光 (高)井沢一柴田

◆第61回秋季四国地区高校野球大会県予選(H20.9.7~10.6)

一回戦 桜ヶ丘 1 - 14 追手前

平成21年

◆第62回春季四国地区高校野球大会県予選(H21.3.28~4.6)

一回戦 岡豊 26 - 1 桜ヶ丘

◆第91回全国高校野球選手権県大会(H21.7.19~27)

一回戦 梶原 7 - 2 桜ヶ丘 (桜)中村、岡村一松田 (梶)中越一神明政

◆第62回秋季四国地区高校野球大会県予選(H21.9.4~10.5)

一回戦 桜ヶ丘 9 - 2 海洋

二回戦 小津 5 - 0 桜ヶ丘

平成22年

◆第63回春季四国地区高校野球大会県予選(H22.3.23~4.2)

一回戦 小津 5 - 2 桜ヶ丘

◆第93回全国高校野球選手権県大会(H22.7.19~30)

一回戦 小津 2 - 0 桜ヶ丘 (桜)岡村一松田 (小)中村一野口

◆第63回秋季四国地区高校野球大会県予選(H22.9.11~10.10)

一回戦 桜ヶ丘 5 - 8 高知農 (桜)岡村一丸田 (農)西山一池田

平成23年

◆第64回春季四国地区高校野球大会県予選(H23.3.22~4.3)

一回戦 桜ヶ丘 2 - 1 窪川

二回戦 桜ヶ丘 2 - 12 追手前

◆第93回全国高校野球選手権県大会(H23.7.16~27)

一回戦 高岡 0 - 9 桜ヶ丘 7回コールド (高)岡本、渋谷一渋谷、岡本 (桜)岡村一丸田

二回戦 桜ヶ丘 5 - 8 中村 (桜)岡村一丸田 (中)佐野一桑田

◆第64回秋季四国地区高校野球大会県予選(H23.9.10~10.9)

一回戦 桜ヶ丘 3 - 4 土佐 (桜)乾一松村 (土)林一川村

平成24年

◆第65回春季四国地区高校野球大会県予選(H24.3.21~4.8)

一回戦 桜ヶ丘 0 - 4 伊野商

◆第94回全国高校野球選手権県大会(H24.7.15~24)

一回戦 桜ヶ丘 3 - 2 須崎 延長12回 (桜)乾一松村 (須)中川一大原

二回戦 桜ヶ丘 0 - 1 高知商 (桜)乾一松村 (高)南、植本一山川

◆第65回秋季四国地区高校野球大会県予選(H24.9.15~10.14)

一回戦 岡豊 6 - 1 桜ヶ丘 (岡)森岡一柴崎 (桜)乾一中川恵

平成25年

- ◆第66回春季四国地区高校野球大会県予選(H25. 3. 21~4. 14)
一回戦 梶原 9 - 0 桜ヶ丘 7回コールド
- ◆第95回全国高校野球選手権県大会(H25. 7. 13~27)
一回戦 桜ヶ丘 8 - 6 高知高専 (桜)乾一堀川 (高)有光一小山
二回戦 桜ヶ丘 0 - 5 中村 (桜)乾一堀川 (中)石川、山田一武田
- ◆第66回秋季四国地区高校野球大会県予選(H25. 9. 7~10. 6)
一回戦 桜ヶ丘 0 - 11 中央 5回コールド (桜)牛窓一松崎 (中)橋口、金城一島村

平成26年

- ◆第67回春季四国地区高校野球大会県予選(H26. 3. 21~4. 14)
一回戦 桜ヶ丘 0 - 7 伊野商 8回コールド
- ◆第96回全国高校野球選手権県大会(H26. 7. 19~28)
一回戦 桜ヶ丘 2 - 4 海洋 (桜)牛窓一松崎 (海)畠中、中山、小玉一高橋
- ◆第67回秋季四国地区高校野球大会県予選(H26. 9. 13~10. 5)
一回戦 岡豊 11 - 0 桜ヶ丘 5回コールド (岡)横田、伊興木一山本 (桜)松崎、川村一丸田、松崎

平成27年

- ◆第68回春季四国地区高校野球大会県予選(H27. 3. 21~3. 31)
一回戦 桜ヶ丘 0 - 28 高知商 5回コールド
- ◆第97回全国高校野球選手権県大会(H27. 7. 20~29)
一回戦 桜ヶ丘 0 - 12 土佐 5回コールド (桜)松崎、高橋一丸田、松崎 (土)林一楫
- ◆第68回秋季四国地区高校野球大会県予選(H27. 9. 12~10. 11)
一回戦 土佐塾 14 - 3 桜ヶ丘 5回コールド (土)三福一森岡 (桜)高橋一前田

平成28年

- ◆第69回春季四国地区高校野球大会県予選(H28. 3. 21~3. 31)
一回戦 桜ヶ丘 3 - 13 高知東 8回コールド

安芸工業高校／安芸桜ヶ丘高校 主な大会戦歴

大会名	成績	回
春季四国地区高校野球大会県予選	準優勝	第31回 ※県高野連招待野球出場(対志度商業高校)
	ベスト4	第35回・第39回
	ベスト8	第34回・第36回・第37回・第40回・第42回 第43回・第44回・第45回・第46回・第53回
高校体育大会野球の部	優勝	第34回
	準優勝	第35回
	ベスト4	第39回
	ベスト8	第37回・第41回・第42回
全国高校野球選手権大会県大会	ベスト4	第62回
	ベスト8	第64回・第67回・第68回・第72回・第78回
県選抜高校野球大会	ベスト4	第38回
	ベスト8	第25回
秋季四国地区高校野球大会県予選	ベスト4	第33回・第41回
	ベスト8	第34回・第37回・第38回

【 公式戦記録 】

	勝	敗	引分	勝率
安芸工業	89勝	119敗	1分	0.427
安芸桜ヶ丘	10勝	42敗		0.192
合計	99勝	161敗	1分	0.380

創立50周年記念事業 招待野球のお礼

本日、ここに県下ではもちろん、全国的においても「文武両道」を実践し、多くの実績をあげておられる伝統校であります高知商業高等学校をご招待し、創立50周年記念事業招待野球を開催することができました。

開催にあたりましては、ご多用のところ早朝より球場まで足を運んで頂き、そのうえ温かい応援をいただきありがとうございます。

野球部生徒にとって、本事業を通じて得た貴重な経験は、今後の高校生活にも活かされることと思います。今後とも野球部ともども安芸桜ヶ丘高校を見守って頂ければこの上ない喜びです。

最後になりましたが、この記念すべき試合に際しまして、ご尽力をいただきました両校の学校関係の皆様およびOBの皆様、選手の保護者、実行委員の皆様へ深く感謝申し上げます。

本日は、誠にありがとうございます。

創立50周年記念事業実行委員会
実行委員長 山本 諭

創立50周年記念事業 招待野球お礼のことば

本日は、本校創立50周年記念事業として、県内屈指のスポーツ強豪校であり、長い歴史と輝かしい伝統を持つ高知商業高等学校野球部を迎え、招待野球を行うことができました。

ひとえに、開催にあたりご理解、ご協力、ご尽力いただきました関係者の皆様に、この場を借りまして、お礼のごあいさつをさせていただきます。

さて、本校は、昭和41年に安芸高等学校より独立して以来、高知県立安芸工業高等学校、安芸桜ヶ丘高等学校として、校訓「誠実」のもと、工業系学科と商業系学科を併設する県内唯一の専門高校として、本年度、50年目の節目を迎えることができました。

また、本校野球部も、本校と共に本日までその部史を刻んでまいりました。あるときには部員不足により、試合に出ることもままならない時期もありましたが、本日各関係者の皆様方のおかげをもちまして、記念招待野球が開催できることになりました。野球部の生徒たちにとってもこの上ない喜びであり、更なる次の一歩へとつながってくれることを期待しています。

結びになりますが、この記念すべき招待野球開催にあたり、ご尽力くださいましたすべての方々にお礼を申し上げますとともに、球場に足を運んでくださいました数多くの方々にも深く感謝を申し上げ、お礼のあいさつとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

高知県立安芸桜ヶ丘高等学校
校長 前田 信幸

創立50周年記念事業 招待野球に感謝をこめて

本校は、本年度、学校創立50周年を迎えることとなりました。この節目の年に、数々の熱戦を繰り広げ、また、多くの実績を残してきた伝統校でもある高知商業高校を招き、創立50周年記念招待野球を開催できますことを大変うれしく思います。

開催にあたり、ご支援、ご協力いただきました高知商業高校の皆様、本校野球部OBの皆様、選手の保護者、実行委員の皆様へ心より感謝申し上げます。

さて、本校野球部においては、近年、生徒数減に伴い部員不足が続き、練習や試合など思うようにできず苦慮している状況です。そんな中でこのように盛大な招待野球ができることは、野球部生徒にとっても、大きな励みとなり夏の選手権大会に向けて力強い一歩を踏み出せるものと確信しています。

安芸工業高校から安芸桜ヶ丘高校へと受け継がれた野球部の歴史を、今後も後輩へとつないでいきたいと思っております。

最後に、招待野球にご多用のところ早朝より球場へ足を運んでいただき、温かいお声がけや応援をいただきありがとうございました。

高知県立安芸桜ヶ丘高等学校野球部
部長 植田 茂雄
監督 河内 邦光
コーチ 安岡 龍悟

